

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Prognostic value of tumor infiltrating lymphocytes in the vertical growth phase of primary cutaneous melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ8-8	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	Ⅰ. システマティック・レビュー／メタアナリシス Ⅱ. 1 つ以上のランダム化比較試験 Ⅲ. 非ランダム化比較試験 Ⅳ. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） Ⅴ. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） Ⅵ. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	8608507	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	77	
	号	7	
	ページ	1303-10	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1996 Apr 1	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Clemente CG	Istituto Nazionale per lo Studio e la Cura dei Tumori
	その他著者 1	Mihm MC Jr	Albany Medical Collage
	その他著者 2	Bufalino R	Istituto Nazionale per lo Studio e la Cura dei Tumori
	その他著者 3	Zurrida S	同上
	その他著者 4	Collini P	同上
	その他著者 5	Cascinelli N	同上
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	垂直増殖期における tumor infiltrating lymphocytes の予後に影響する程度を評価する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	WHO melanoma study group	
	対象者	1967 から 1975 までの WHO melanoma study group に集められた 777 例のうち基準を満たした旧 AJCC stage I または II の 285 例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	細胞分裂数、tumor infiltrating lymphocytes、Tumor Thickness、regression、年齢、性別、原発部位	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	死亡	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	5 年生存率 10 年生存率 Brisk tumor infiltrating lymphocytes 77% 55% Nonbrisk tumor infiltrating lymphocytes 53% 45% No tumor infiltrating lymphocytes 37% 22% 多変量解析では Tumor Thickness と tumor infiltrating lymphocytes が有意な独立予後規定因子であった。	
結論	垂直増殖期における tumor infiltrating lymphocytes はとても強力な予後因子となる。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ）
--	------------	-------------------